

プレミアムコース4日目 経絡治療を利用した筋膜・内臓 アプローチ



ALLアプローチ協会
代表 山口 拓也

A L L アプローチ協会

理念



ALA
ALLアプローチ協会

- セラピスト自身が患者様に全力で向き合えるよう健康、笑顔、治療技術を提供しセラピスト自信が幸せになっていただく。
- 患者様の悩みの解決、夢をサポートできるようにすべての治療テクニックと生活習慣にもアプローチできる本物のセラピストを生み出していく。
- A L L アプローチ協会に関わって頂いたすべての方を笑顔にしながら人と人のつながりを作る

本日の目的

- ①十二経脈の場所や流れをある程度理解できる。
- ②経絡治療を臨床に少しでも活用できるようにする
- ③経絡治療の使い方を覚えて帰るようになる

経絡治療について・・・？

【経絡治療とは？】

- 鍼灸学では、経脈と絡脈のことである。2つを合わせて経絡です。

経脈：身体を縦に流れる脈のこと 十二経脈 奇経八脈がある

絡脈：経脈同士で連係、網状に全身をまとうという意味がある

（十二経脈について）

- それぞれが臓腑・頭部・体幹・四肢などと連絡しており全身に気血を巡らせ相互に接続して端のない1本の環になる。走行には方向性があり、その流れを流注という。

（14本の重要な経絡）

- 12経脈＋任脈、督脈＝十四経脈

経脈について

【十二経脈】

東洋医学で、六臓六腑に気血を循環させる12の経脈。

【奇形八脈】

十二経脈の間を縦横に交差して走る八つの経脈（気血の調整）

（気血について）

人体内の生氣と血液。経絡(けいらく)の内外を循環する生命力の源とみなされるもの。

（ツボについて）

経穴（経脈上のツボ） ・ 奇穴 ・ 阿是穴の3種類がある。

気血について

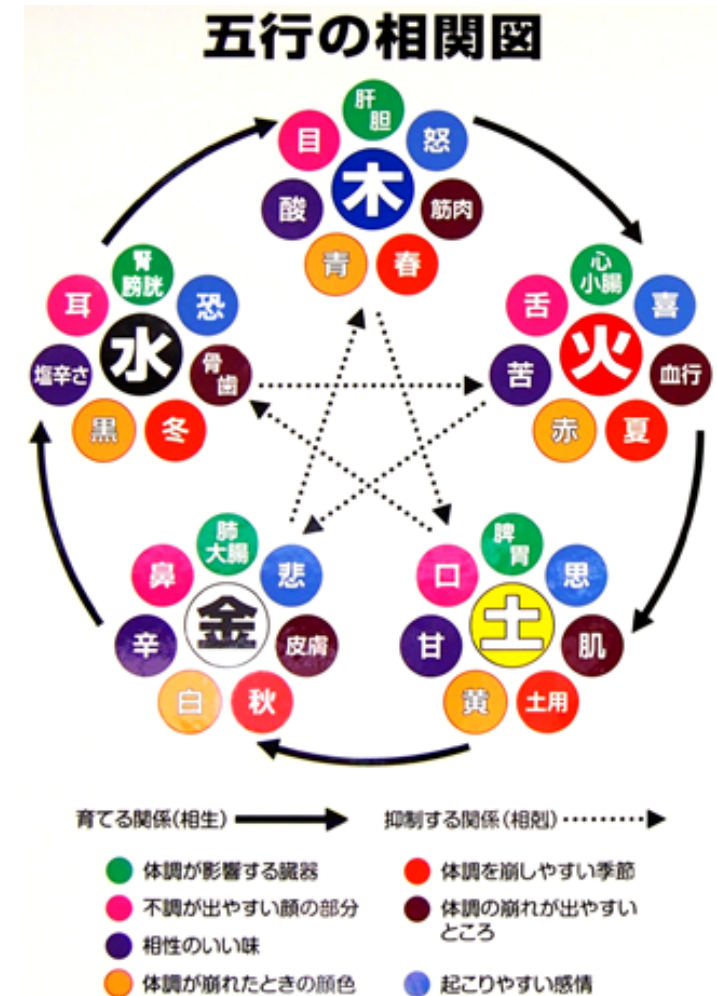
(気血について)

- ・ 人体内の生氣と血液。経絡(けいらく)の内外を循環する生命力の源とみなされるもの。
- ・ 東洋医学（中国医学）の一連の治療法で重要視される用語で、臓腑(ぞうふ)にエネルギーを供給するエネルギー源を意味する。東洋医学の古典理論では、人体の正常な機能を保つ内臓器官は六臓六腑（一般には五臓六腑といわれるが、実際には六臓六腑とされる）であり、この六臓六腑は、体内を一定のリズムで循環する気血の循行によって営まれると考えられている。この気血の循環経路がいわゆる経絡(けいらく)であり、気（榮気）は経外を巡り、血（衛血）は経内を巡る。気血の正常な循行によって臓腑（肝、心、脾(ひ)、肺、腎(じん)、心包(しんぼう)の六臓と、胆(たん)、小腸、胃、大腸、膀胱(ぼうこう)、三焦(さんしょう)の六腑）は健常となり、生体も健康が維持される。

経穴と筋膜の関係

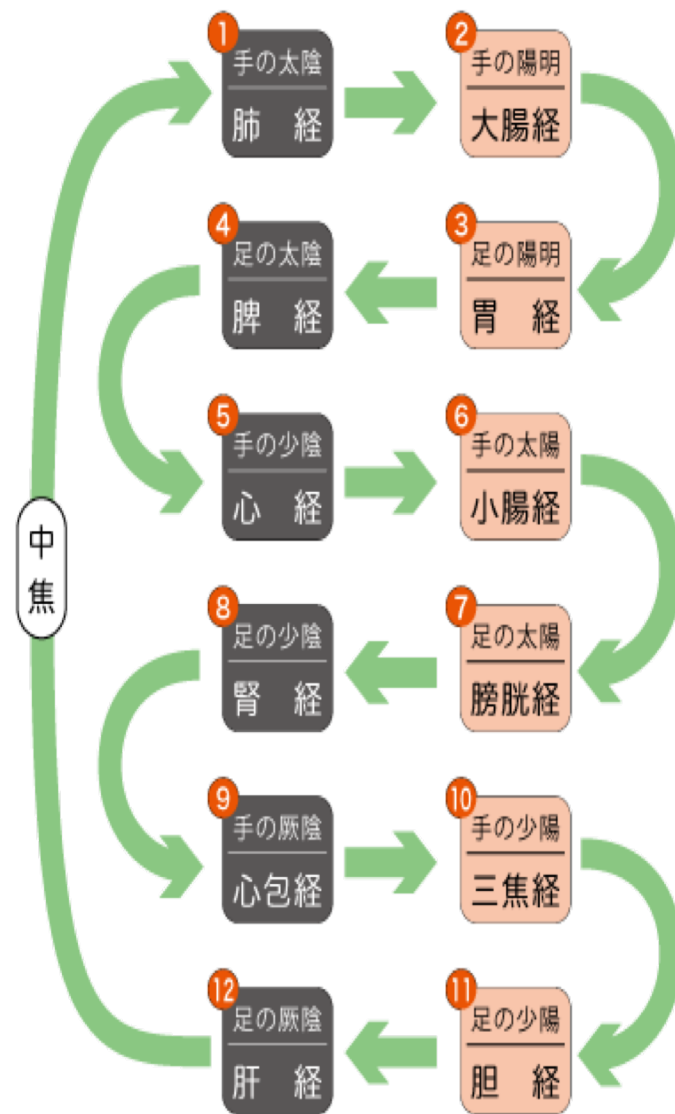
- ・トリガーポイントの92%は、解剖学的に経穴と一致
- ・また、83%は経穴と同じ局所痛を示す
- ・経穴の部位に自律神経終末やゴルジ終末やパチニ小体がある
- ・経穴の下は、血管や神経の通り道であることが非常に多い

五行の相関図



流中（るちゅう）

- ①肺経：前胸部→母指外側端（穴井）
- ②大腸経：示指外側端（穴井）→鼻翼外方
- ③胃経：眼窩下縁→第2趾外側端（穴井）
- ④脾経：第1趾内側端（穴井）→側胸部中央
- ⑤心経：腋窩→小指外側端（穴井）
- ⑥小腸経：小指内側端→耳の前
- ⑦膀胱経：内眼角→第5趾外側端（穴井）
- ⑧腎経：第5趾内側端（穴井）→鎖骨下内側
- ⑨心包経：胸中→中指端（穴井）
- ⑩三焦経：薬指内側端（穴井）→眉毛外端
- ⑪胆経：外眼角→第4趾外側端
- ⑫肝経：第1趾外側端



経絡が悪いと・・・

・経絡の流れが悪いと・・・

- ①筋膜・内臓・頭蓋に悪影響を及ぼす・・・
- ②筋膜・内臓・頭蓋の硬さが治療しても緩み切らない
- ③患者さん自身のエネルギーが低下してしまう
- ④感情にも影響してしまう

【調整方法について】

- ①経絡を沿ってマッサージ②井穴の圧痛をとりきる③経絡を使って筋膜治療④経絡を使って内臓治療⑤経絡を使って頭蓋治療

経絡の使い方について

- ①内臓の評価・調整が行える
- ②筋膜の評価・調整が行える
- ③エネルギーを高められることができる
- ④頭蓋治療にも使うことができる
- ⑤チャクラを開くきっかけに使うことができる

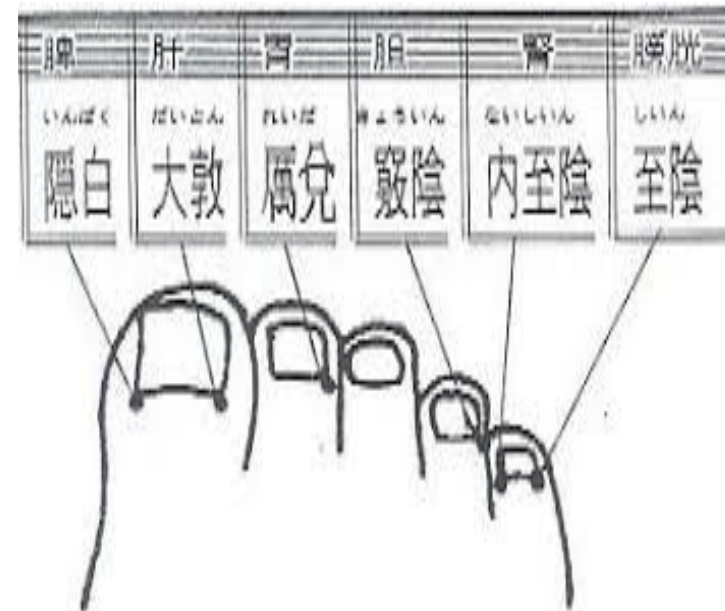
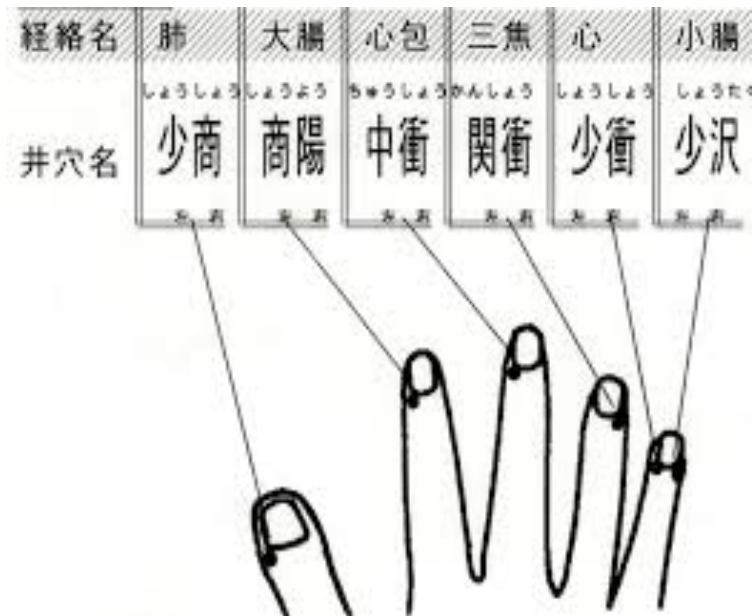
※経絡ライン上で流れが止まっているところを探し流していく

経絡治療のメリット・目的

【メリット】

- ①筋膜・内臓治療の時短ができる
- ②患者さんに負担が少ない（患部など）
- ③より深く内臓・筋膜を調整できる
- ④内臓・筋膜の原因部位ができる
- ⑤エネルギー高められる
- ⑥好転反応を減らす事ができる
- ⑦体質改善・痛み治療・感情アプローチなど万能に使える事ができる

井穴アプローチ



肝経治療について

- ・内臓治療：肝臓
- ・筋膜ライン：DFL（ディープフロントラインに近い）
- ・筋肉調整

大胸筋、菱形筋、大腰筋、薄筋、半腱様筋、縫工筋、薄筋、恥骨筋、長内転筋、外腹斜筋、内腹斜筋など

（症状）

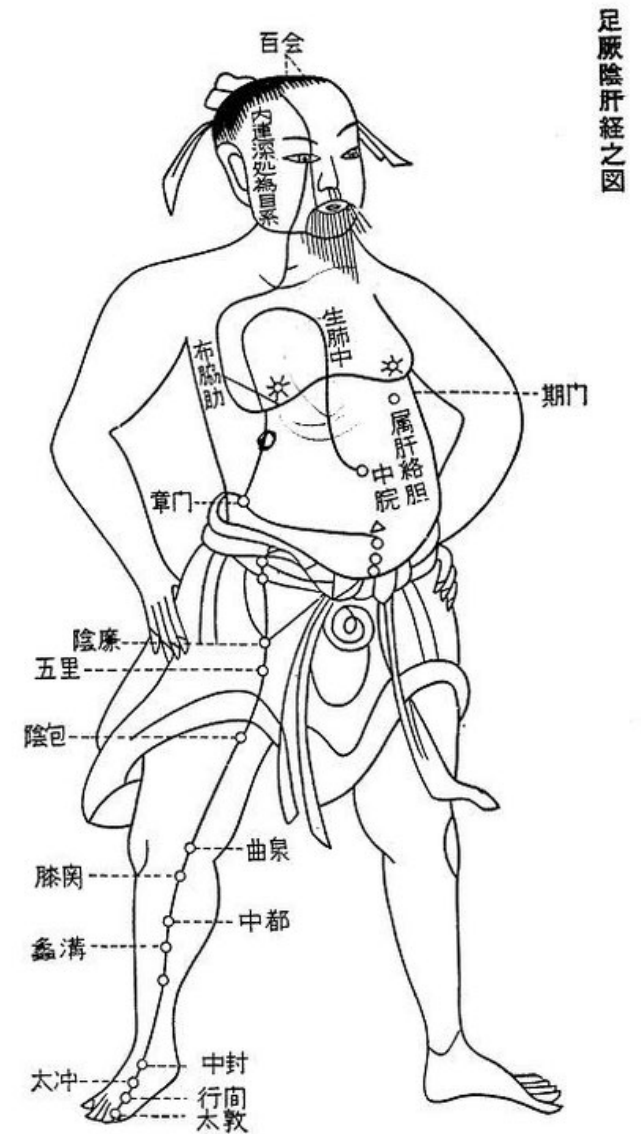
目の周りの症状などに使用

【実践編】

- ①肝臓治療
- ②内転筋

【経穴】

- ・太衝（たいしょう）、曲泉、隠包、五里、掌門、期門



脾經治療について・・・

【内臓治療】

脾經（胃・心臓）

【筋膜治療】

DFL（ディープフロントラインに近い）

【筋肉調整】

後脛骨筋、長指屈筋、ヒラメ筋、腓腹筋、半腱様筋、半膜様筋、内側広筋、縫工筋、大腿直筋、外腹斜筋、内腹斜筋、横隔膜、大胸筋、前鋸筋

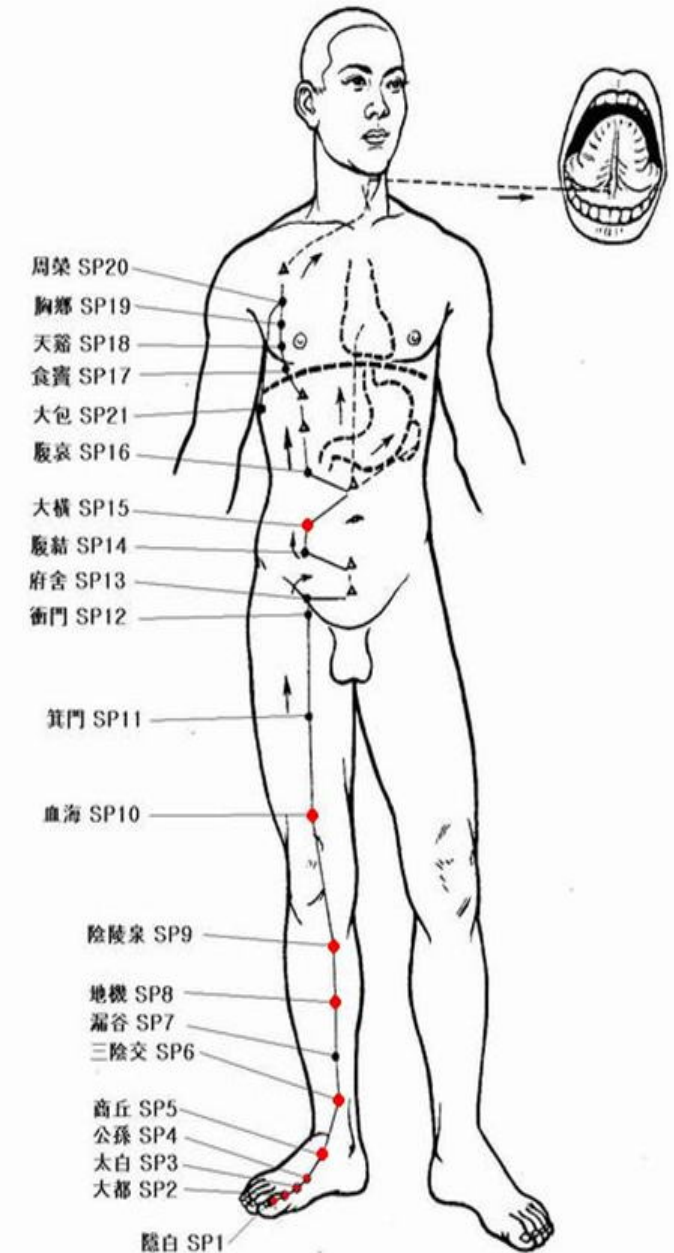
【実践編】

①横隔膜・大腰筋治療

②脾臓治療

【経穴】

三陰交、血海、衝門、大包



胃経について

【内臓治療】

胃（大腸・小腸）

【筋膜ライン】

【筋肉調整】

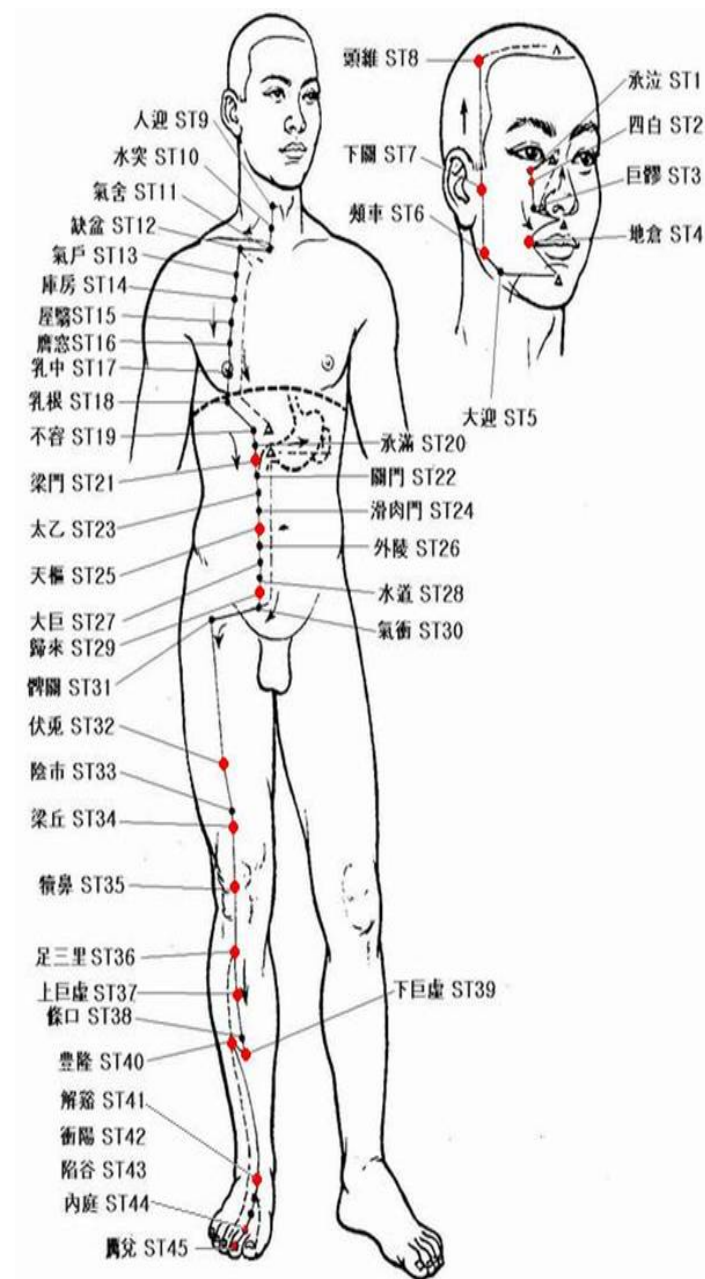
眼輪筋、小頬骨筋、広頸筋、咬筋、
外側翼突筋、前頭筋、胸鎖乳突筋、
中斜角筋、大胸筋鎖骨部、鎖骨下筋、腹直筋、腹斜筋、
大腿直筋、縫工筋、TFL、外側広筋、前脛骨筋

【実践編】

胃、腹直筋と前脛骨筋アプローチ

【経穴】

頬車、足三里、条口、豊隆、



胆経について . . .

【内臓治療】

胆のう

【筋膜調整】

ラテラルラインに近い

【筋肉調整】

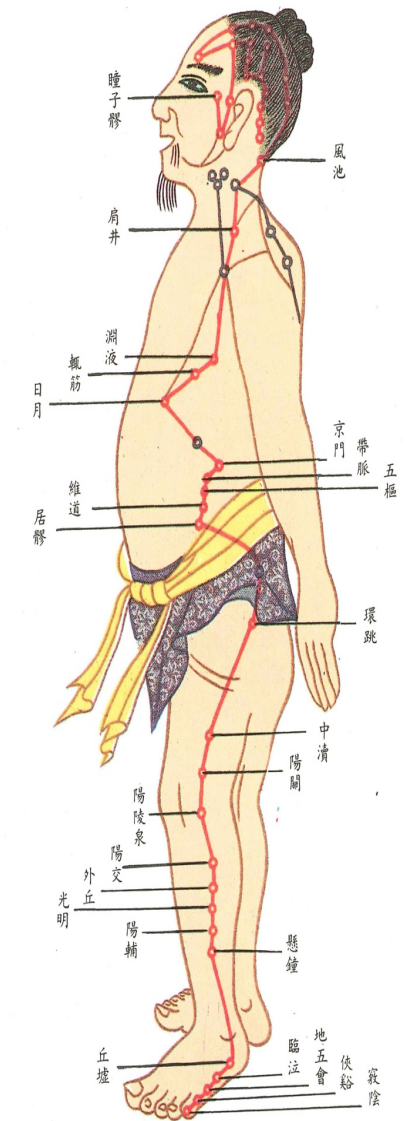
眼輪筋、小頬骨筋、広頸筋、咬筋、外側翼突筋、前頭筋、胸鎖乳突筋、
中斜角筋、大胸筋、鎖骨下筋、腹直筋、腹斜筋、大腿直筋、縫工筋
TFL、外側広筋、前脛骨筋

【実践編】

胆のう TFL

【経穴について】

風池、肩井



腎経について・・・

【内臓治療】

腎臓（肺）

【筋膜調整】

DFL（ディープフロントラインに近い）

【筋肉調整】

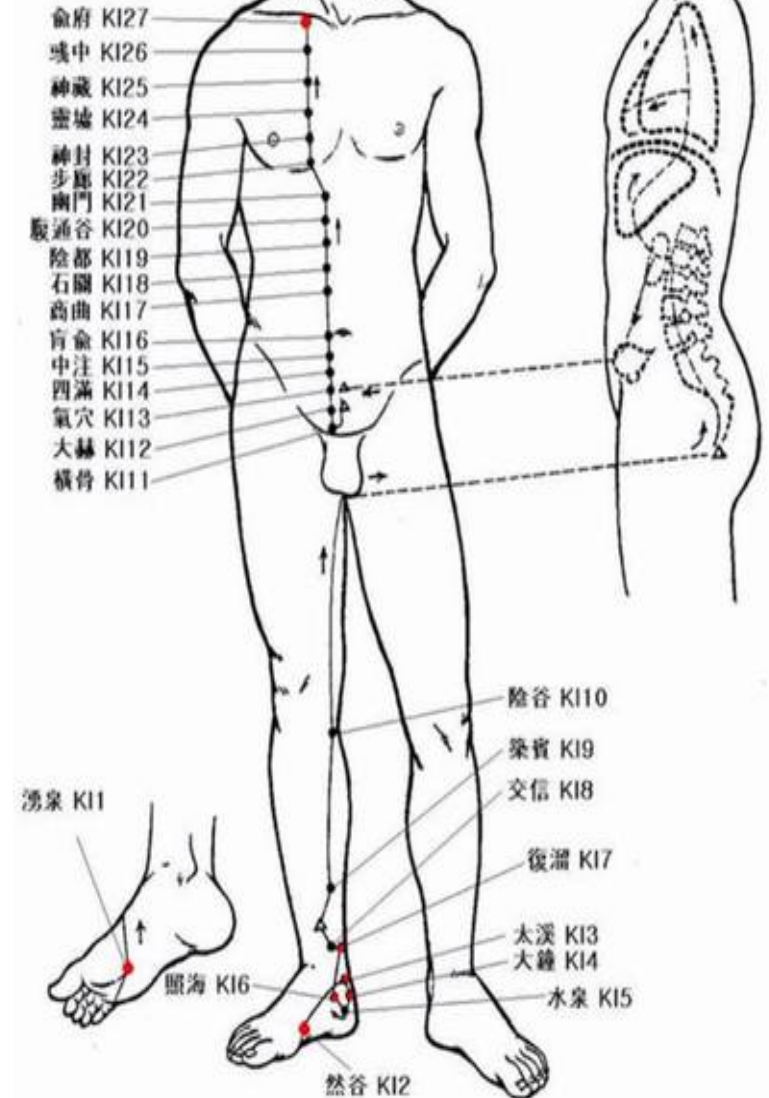
足底腱膜、短趾屈筋、後脛骨筋、腓腹筋、
ヒラメ筋、腹直筋、大胸筋、外・内肋間筋、
鎖骨下筋・大腰筋

【実践編】

腎臓

【経穴】

陰谷、然谷、湧泉、喩府



膀胱経について

【内臓治療】

膀胱（腎臓）

【筋膜ライン】

【筋膜調整】

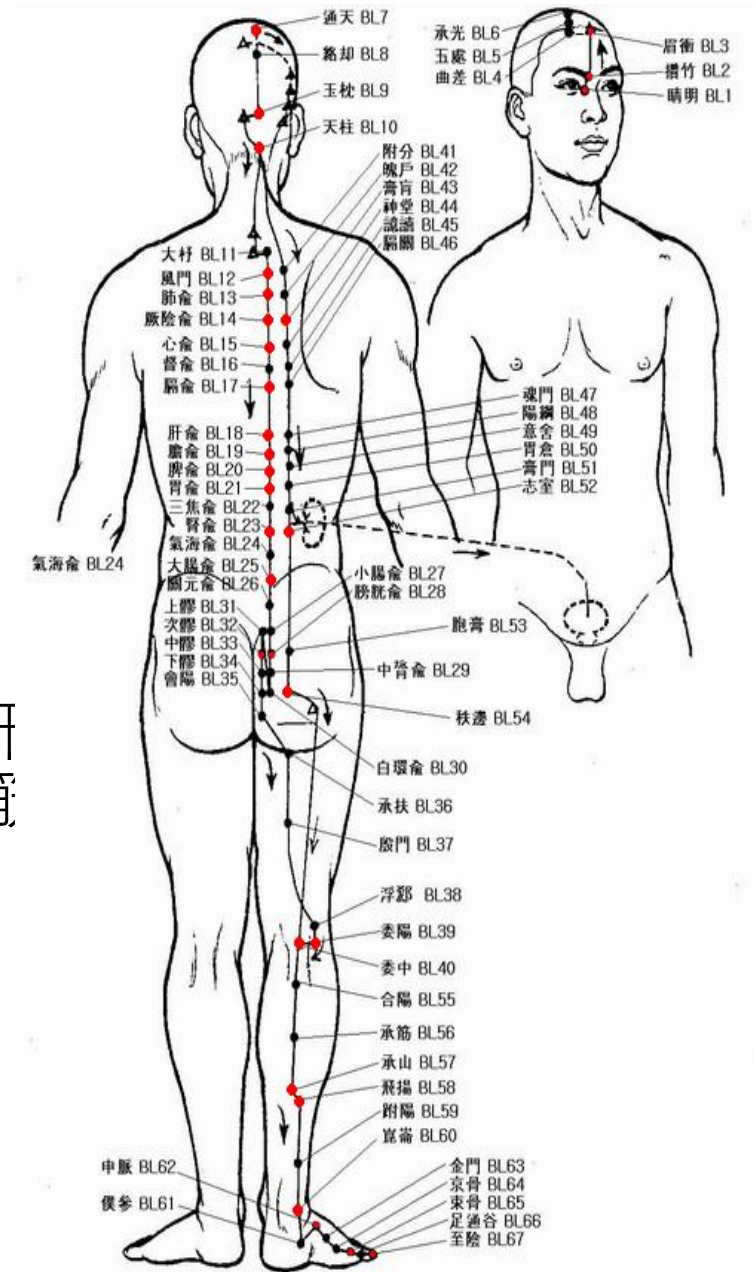
眼輪筋、前頭筋、帽状腱膜、後頭筋、僧帽筋、菱形筋群、半腱様筋、大腿二頭筋、脊柱起立筋、膝下筋

【実践編】

臀筋群、膀胱、僧帽筋

【経穴】

腎兪、中府、委中、金門



肺経について

【内臓治療】

肺

【筋膜治療】

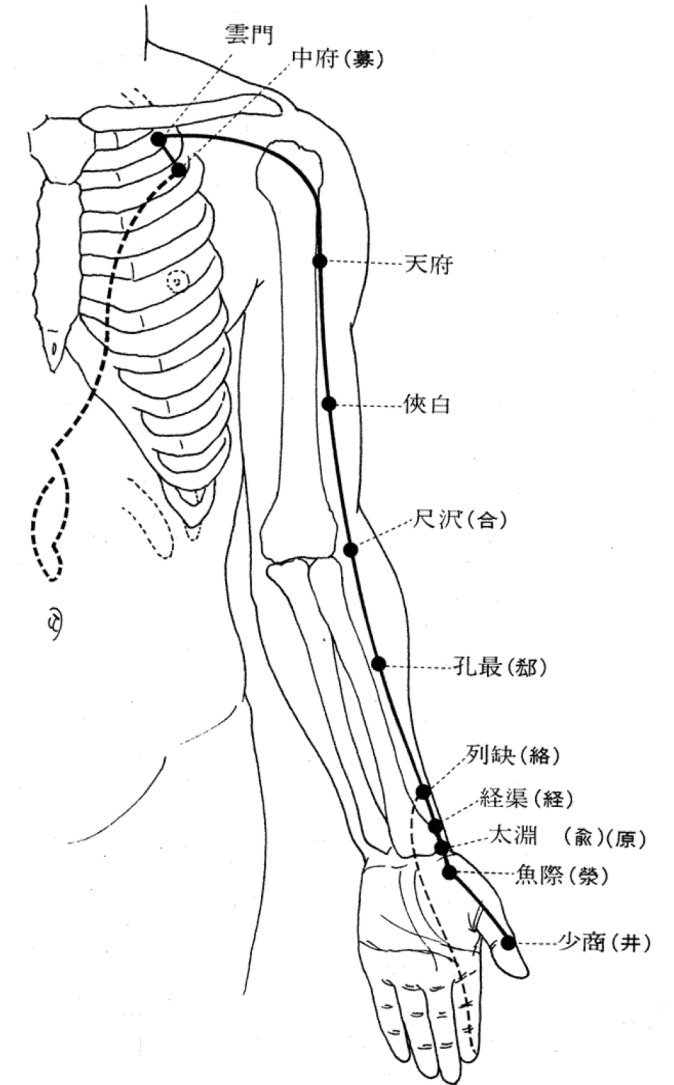
母指球筋、大胸筋、小胸筋、上腕二頭筋
腕橈骨筋、鎖骨下筋

【実践編】

肺・小胸筋

【経穴】

中府、太淵、尺沢



大腸経について

【内臓治療】

大腸

【筋肉調整】

背側骨間筋・長母指伸筋・短母指伸筋・前腕伸筋群
橈骨筋・三角筋・上腕二頭筋・僧帽筋・棘上筋・広背筋
筋・口輪筋・小頬骨筋・上唇挙筋

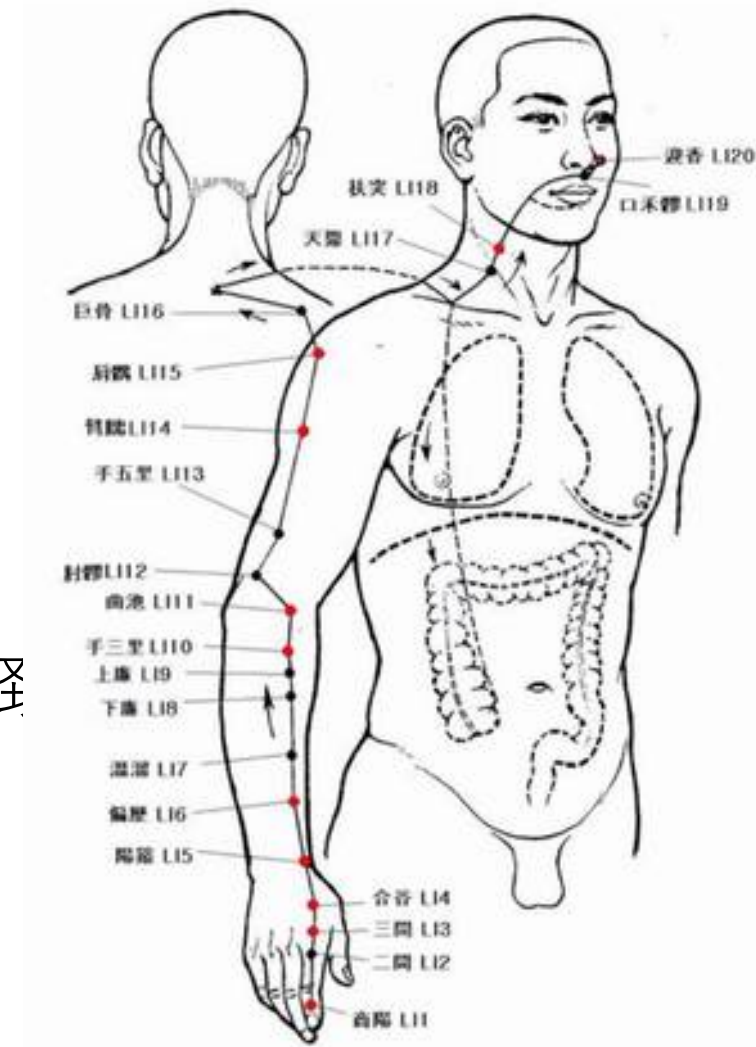
(歯痛)

【実践編】

大腸、腕橈骨筋

【経穴】

合谷、手三里



心包経について

【内臓治療】

心膜

【筋肉調整】

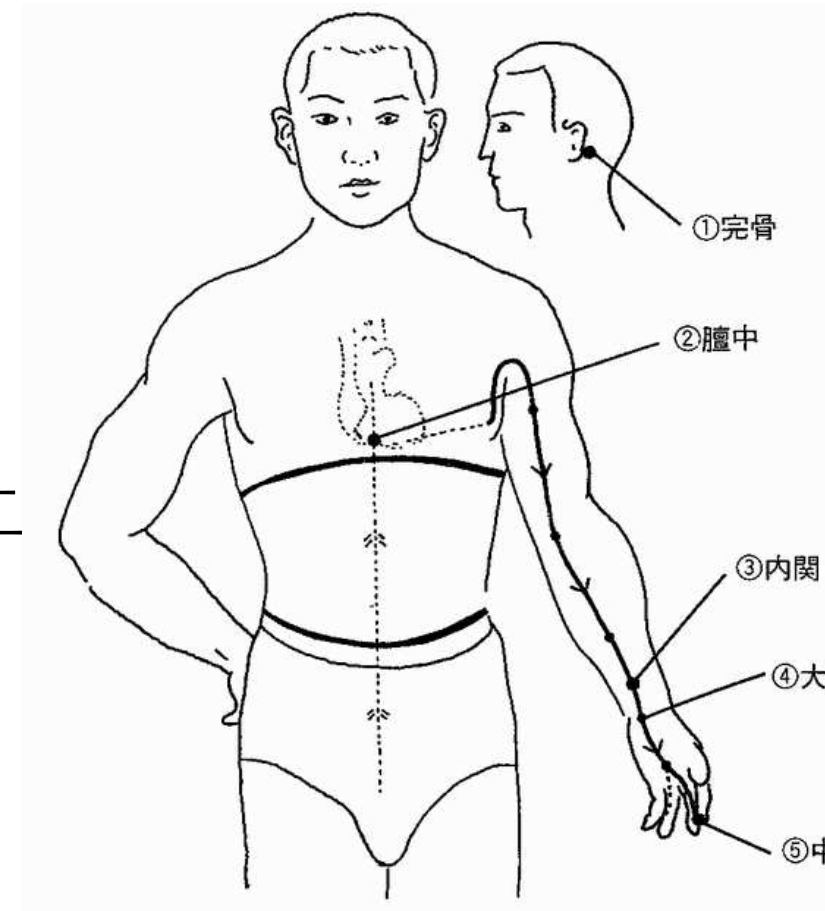
大胸筋・小胸筋・外肋間筋・内肋間筋・上腕二
撓側手根屈筋筋、浅指屈筋、長掌筋

【実践編】

長掌筋・心膜

【経穴】

労宮



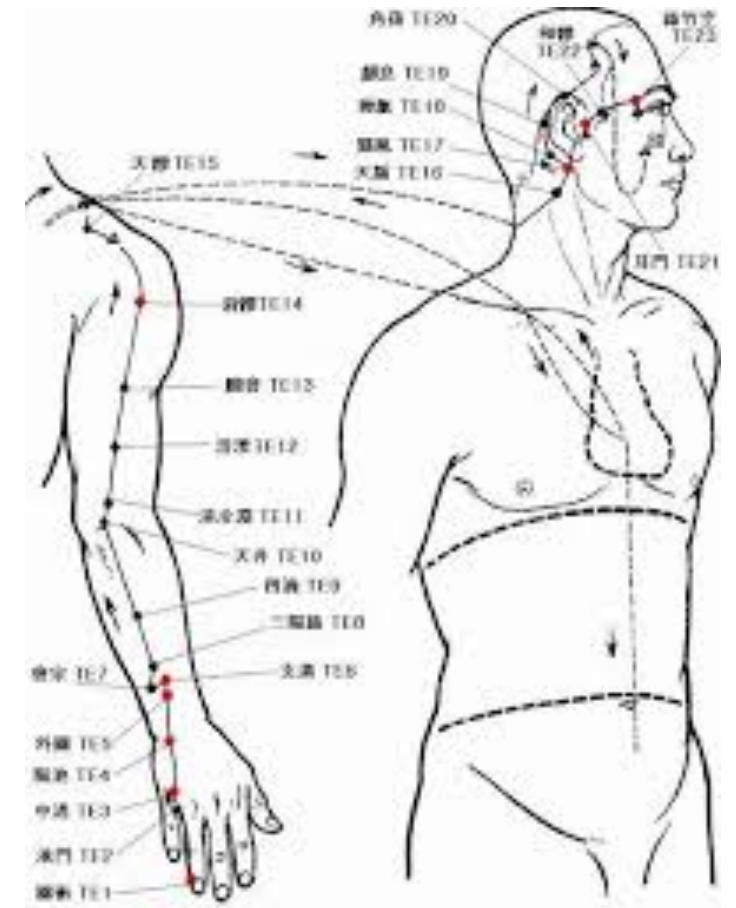
三焦經について

【内臓治療】

上焦：肺・心臓

中焦：脾・胃

下焦：腎臓・小腸・大腸・膀胱



心経について

【内臓治療】

心臓

【筋肉調整】

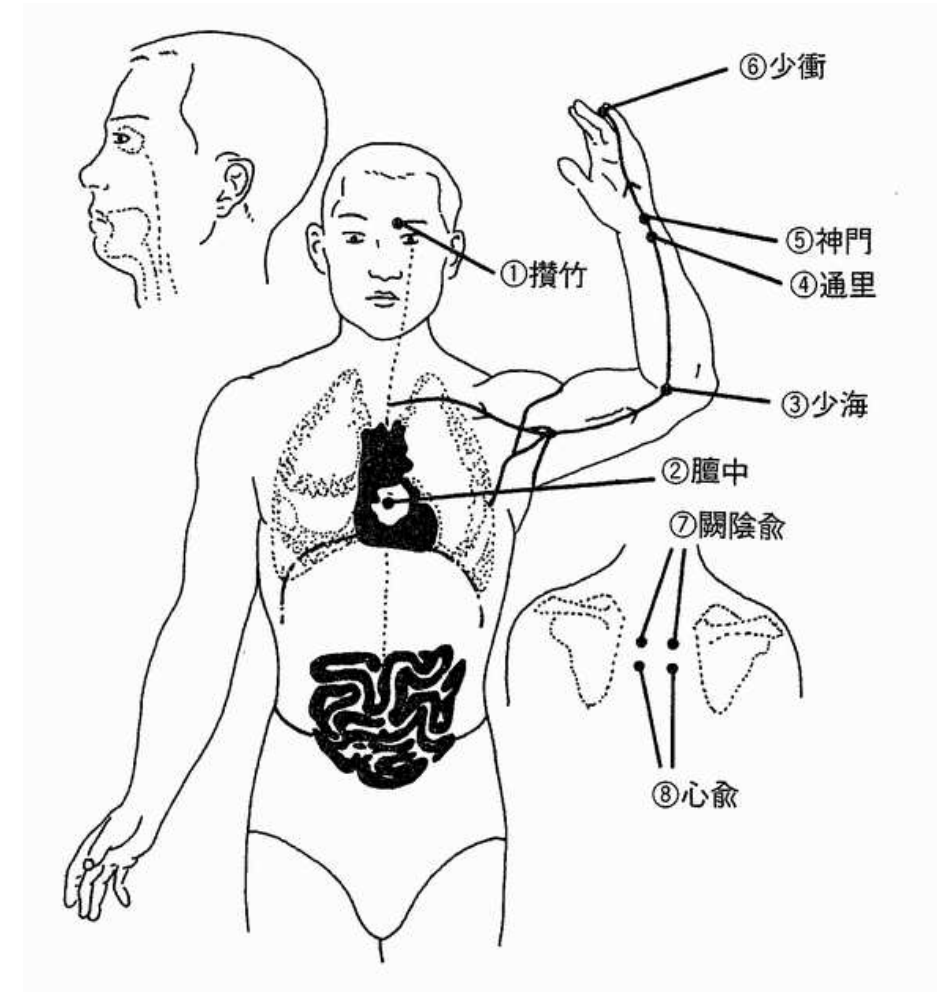
小指球筋・内側上から起始する筋群
上腕三頭筋 など

【実践編】

心臓、内側上顆（小海）

【経穴】

神門、小海



小腸經について

【内臓治療】

小腸

【筋肉調整】

小指外転筋、尺側手根伸筋、尺側手根屈筋、棘下筋、棘上筋、僧帽筋、肩甲挙筋、広頸筋、大頰骨筋

【実践編】

小腸、僧帽筋、肩甲挙筋

【経穴】

天宗、肩外喕

